

安全データシート

(MATERIAL SAFETY DATA SHEET)

この情報は顧客のためのサービスとして提供されており、顧客参照用/ガイドの範囲でのみ使用できます。

この情報は、信頼できると判断される技術情報に基づいて作成されており、適切な安全予防措置を製品に適用できます。

新しい技術や経験によって改訂される可能性があります。

Version : 04

Date of issue : 2023-03-03

Revision date : 2025-12-23

1. 製品及び会社情報

A. 製品名

- CELLiST™ F7

B. 製造業者/供給者/流通業者情報

- 製造者/供給者 : Ajinomoto CELLiST Korea Co., Inc.
- アドレス : 105, Jisikgiban-ro, Songdo-dong, Yeonsu-gu, Incheon 21991, KOREA
- 担当部署 : Production Division / Technical Group
- 緊急連絡先 : +82-32-210-2600
- FAX 番号 : +82-32-210-2604
- E-mail : sales@ajinomotocellist.com

2. 危険有害性の要約

A. GHS 分類

- 物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない。
- 健康に対する有害性 : 分類基準に該当しない。
- 環境に対する有害性 : 分類基準に該当しない。

B. GHS ラベル要素

- 絵表示 (GHS JP) : 該当しない。

処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	CAS 番号	官報公示整理番号		濃度 (%)
		化審法番号	安衛法番号	
L-Cysteine	52-90-4	(9)-1590	2-(4)-66, 2-(4)-184	0 ~ 5 %

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
清浄な水で口の中を洗浄し、医師の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
必要であれば、医師の処置を受ける。
- 眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
直ちに流水で充分洗浄する。必要であれば、医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。
清浄な水で口の中を洗浄し、必要に応じ医師の処置を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 吸入した場合 : 本製品から発生する粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。ヒト及び動物に対する毒性データは知見されていないが、本製品は吸入危険有害性と見なされる。
- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 通常の条件下では特に無し。
粉じんは皮膚のひだまたは密着した衣服に接触することで刺激を起こすことがある。
- 症状/損傷 眼に入った場合 : 通常の条件下では特に無し。
本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。
- 症状/損傷 飲み込んだ場合 : 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な 消火剤 : 粉末消火剤、水、泡沫消火剤。
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 火災危険性 : 火災の危険は一切ない。
- 爆発の危険 : 直接に爆発する危険は全くない。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
: 自給式呼吸器。
: 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること

非緊急対応者

保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

応急処置 : 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。

詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

応急処置 : 不要な職員を退避させる。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。

浄化方法 : 製品は機械的に回収する。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

技術的対策 : データなし

安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。

個人用保護具を着用する。

接触回避 : データなし

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

製品取扱い後には必ず手を洗う。

処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

保管

安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。（遮光、密封）

安全な容器包装材料 : データなし

技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

管理濃度 : データ無し

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具 : 保護用手袋

眼の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
色	: データなし
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体)
	区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)
	分類できない (粉じん、ミスト)
皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない

生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期（急性）	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	: 区分に該当しない
残留性・分解性	: 急速分解性でない
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 固体廃棄物については適用法令を遵守する。 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制	: 輸送規則の定義上危険物に該当しない。
------	----------------------

国連勧告 (UN RTDG)

国連番号 (UN RTDG)	: 規制されていない
正式品名 (UN RTDG)	: 規制されていない
容器等級 (UN RTDG)	: 規制されていない
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 規制されていない

国内規制

その他の情報	: 補足情報なし
--------	----------

15. 適用法令

A. 日本国内規制事項

○ 化審法	
- 監視対象物質	: 該当しない
- 第一種特定化学物質	: 該当しない
- 第二種特定化学物質	: 該当しない

- 優先評価物質 : 該当しない
- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- 化管法
 - 日本PRTR : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 該当しない
- 消防法 : 該当しない

16. その他

※ 危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

記載内容のうち、含有量・物理/化学的性質等の値は、保証値ではありません。

注意事項等は通常の実取扱いを対象としており、特別な取扱いの場合は、ご配慮お願い致します。

ここに記載された内容は現時点で入手出来た情報やメーカー所有の見解に基づいて作成しており、そのデータや評価はいかなる保証をなすものではありません。

法令の改訂及び新しい見解により改訂されることがあります。

作成 : 2023-03-03

改定回数と最終改正日 : V4, 2025-12-23

この情報は労働者の健康、環境、安全を保護するため、現在使用可能なDBに基づいて作成してある。